

令和2年7月23日

横浜国立大学教育学部
附属学校保護者の皆様

横浜国立大学教育学部長
木村 昌彦
教育学部副学部長
加藤 圭司
教育学部附属学校部長
梅澤 秋久

本学学生のコロナウイルス感染に関わるニュース報道について

7月22日にネットニュース等で配信された、横浜国立大学の運動系サークルでクラスターが発生した報道については、大変驚かれたことと思います。皆様にはご心配をおかけして大変申し訳ありません。

保護者の皆様に対しても本学の状況そして対応についての正確な情報を発信し、インフォメーション（量的情報）ではなくインテリジェンス（質的情報）をお伝えすることで現状認識をして頂きたく存じます。

大学では、現在遠隔授業を実施しており、入構申請を行った卒論、修論学生の一部のみが大学構内で研究活動・実験等を行っている状況で、大学構内でのクラスターは発生しておりません。今回の報道された感染に関しては、学外での感染です。詳細については現在調査中です。また、昨日の夜には学長から学生、教職員に対してWeb上でメッセージが発出されました。内容としては学生への更なる注意喚起、教職員には指導の徹底です。本学では今後もコロナ対策には徹底して取り組んでいきます。

5月下旬に、附属学校部より「学校再開に向かういまこそ〈自由の相互承認〉を」というお便りが出されたと思います。そこでは3つの感染症についてのメッセージが記されていました。「ウイルス」、「不安・恐れ」、「差別や偏見」の感染です。

まず、正しい知識と情報を得て根拠のない「不安・恐れ」を抱かず、「偏見」を持たないでください。今、再度これを確認して大学、附属学校一体となってコロナに立ち向かいましょう。